

05

— *Instructor Guide*

REFERENCE NUMBER

**C26\_05**



PROFESSIONAL TRAINING SERIES

# プロジェクトマネジメント入門

～計画・実行・管理の基本を身につけ、プロジェクトを成功に導く～

- 対象: 中堅社員（入社3～7年目）
- 研修時間: 2.5時間

1 / 30

## 【時間: 5分（開始前の準備含む）】

- 受講者を4～5名のグループに分けておく（可能であれば部署横断の構成にする）
- A3用紙（WBS作成用）2枚、付箋（3色以上）、マーカーを各テーブルに配布
- ワークシート（5種類：WBS作成シート、ガントチャートシート、リスク登録簿シート、ステークホルダー分析シート、振り返りシート）を人数分印刷しておく
- プロジェクト管理ツール（Backlog、Notion、Microsoft Projectなど）のデモ画面を準備しておく
- 「今日は皆さんに、プロジェクトを"なんとなく進める"段階から"計画的にマネジメントする"段階へステップアップしていただきます。経験の多い方も少ない方も、一緒に学んでいきましょう」と声かけ

## 本日の目標

この研修を通じて、以下のことができるようになります

1. プロジェクトの定義と特性を理解し、ルーティン業務との違いを説明できる
2. WBS（Work Breakdown Structure：作業分解構成図）を使ってプロジェクトを計画できる
3. リスク管理とステークホルダー管理の基本プロセスを実践できる
4. リモート・ハイブリッドワーク環境でのプロジェクト運営の要点を把握できる

2 / 30

### 【時間: 3分】

- 「皆さんの中で、これまでにプロジェクトリーダーやサブリーダーを任された経験がある方はいますか？」と問いかける
- 挙手やチャットでの反応を促す。経験の有無に関わらず学びがあることを伝える
- 「今日の研修は、"知識を得る"だけでなく、"実際に手を動かして体験する"ことを重視しています。ワークの時間を多く設けていますので、積極的に取り組んでください」
- 4つの目標を読み上げ、「この中で特に知りたいものはどれですか？」と尋ね、受講者の関心を把握する
- 想定質問：「PMの資格がなくてもプロジェクトマネジメントはできるのか？」→「資格は体系的な知識の証明ですが、今日学ぶ基本スキルは資格の有無に関わらず現場で活かせます」

## アジェンダ

1. プロジェクトマネジメントとは (20分)
2. プロジェクトの立ち上げと計画 (25分)
3. スケジュールとリソース管理 (25分)
4. リスク管理とステークホルダー管理 (25分)
5. チームマネジメントとコミュニケーション (20分)
6. プロジェクトの振り返りと知見の蓄積 (15分)
7. まとめとアクションプラン (20分)

※ 途中、10分間の休憩を1回はさみます (セクション3終了後)

3 / 30

### 【時間: 2分】

- 全体の流れを簡潔に説明する
- 「各セクションで"概念の理解→具体例の確認→実践ワーク"という流れで進めます。座学だけでなく、手を動かす場面が多くあります」と伝える
- リモート参加者がいる場合は、チャット機能やブレイクアウトルームの使い方を案内する
- 2.5時間の研修であるため、テンポよく進める旨を伝える

## アイスブレイク「プロジェクト経験マッピング」

【グループワーク】（所要時間：7分 / 4～5名1組）

テーマ：「あなたが関わったプロジェクトを振り返ろう」

以下の観点でグループ内で共有してください

- どんなプロジェクトでしたか？（テーマ・規模・期間）
- あなたの役割は？（リーダー・メンバー・サポート）
- 「もっとこうすればよかった」と思うことは？

→ 1人1分程度で共有し、グループ内で共通点を探してみましょう

4 / 30

【時間: 10分（説明1分+ワーク7分+共有2分）】

- 「プロジェクト」は広く捉えてよいことを伝える（社内イベントの企画、新人歓迎会の運営、業務改善活動なども立派なプロジェクト）
- プロジェクト経験が少ない受講者には「学生時代のゼミ活動や文化祭の準備でもOK」と声かけする
- 2～3グループに代表的なエピソードを発表してもらう
- 「"もっとこうすれば"という気づきこそ、今日の研修で解決のヒントが見つかるはずです」と前向きにつなげる
- 出てきたキーワードをホワイトボードにメモしておき、研修中に適宜参照する
- 次セッションへの橋渡し：「皆さんが経験した"プロジェクト"を、今日は体系的に整理していきましょう」

## セクション1 – プロジェクトマネジメントとは

### プロジェクトの定義

「独自の成果物やサービスを創出するために実施される、有期性のある取り組み」

– PMBOK (Project Management Body of Knowledge : プロジェクトマネジメント知識体系) ガイド第7版

### プロジェクトの3つの特徴

1. **有期性** – 明確な開始日と終了日がある
2. **独自性** – 既存の繰り返しではない、新しい成果物を生み出す
3. **段階的詳細化** – 進行するにつれて、内容が具体的になっていく

### プロジェクトマネジメント (PM) とは

- この3つの特徴を持つ活動を、目標達成に向けて計画・実行・管理する手法の総称です

5 / 30

### 【時間: 5分】

- PMBOK (Project Management Body of Knowledge) はPMI (Project Management Institute : プロジェクトマネジメント協会) が策定した知識体系であることを補足する
- 第7版 (2021年発行) では、プロセス中心から「原則」と「パフォーマンス領域」中心へ大きく変わったことに簡潔に触れる
- 「段階的詳細化」は重要な概念であり、最初からすべてを決められないのがプロジェクトの本質であることを強調する
- 2025~2026年の日本企業では、DX (Digital Transformation : デジタルトランスフォーメーション) 推進や生成AI導入など、中堅社員がプロジェクトに関わる機会が急増していることを説明する
- 想定質問: 「小さな改善活動もプロジェクトですか?」 → 「開始と終了があり、何か新しいものを生み出す活動であれば、規模に関わらずプロジェクトと捉えることができます」